

GROUNDLESS

アリストリア改国戦記





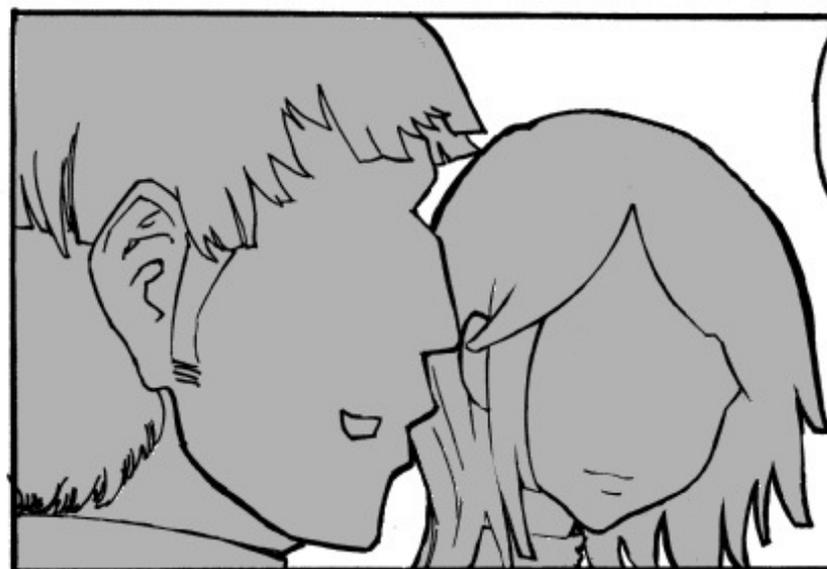
先生の母は…
小さな食堂を
やっていたわ…
色々事情があつて
あまり流行らなかつたし
嫌な思いをするこゝも
多かつた。

先生が小さかつた頃は
血統差別つて
いふのがあつてね…
あなたには、
まだ難しいかも
しれないけど…

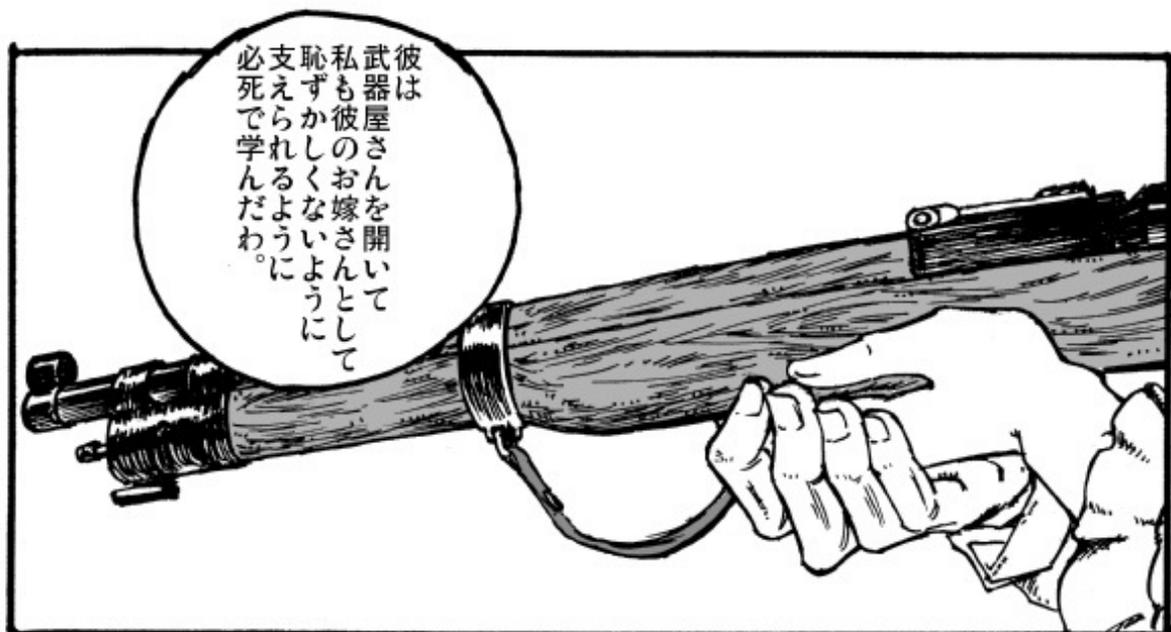
まだ皆が
うまく仲良しに
なれなかつたの。



それでも先生が
大人になる頃には
素敵な人が現れた。



名家の人だつたから
最初はからかわれてる
のかと思つたけど
彼は彼の家族の
反対を振り切つて私と
一緒になつてくれた。



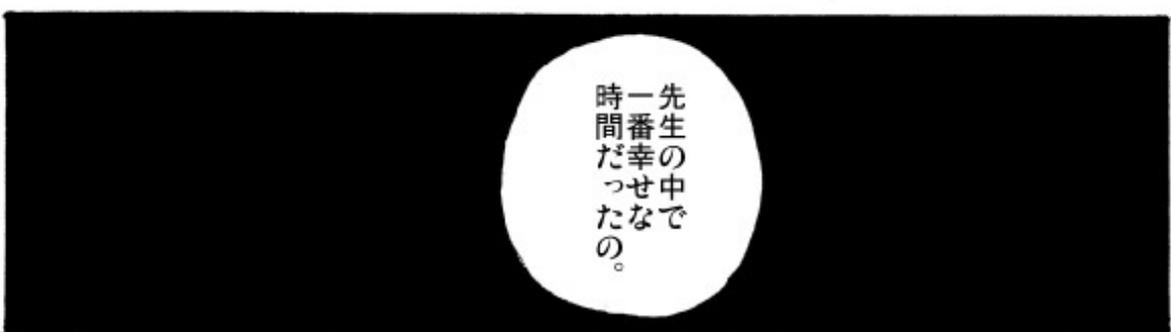
彼は武器屋さんを開いて
私も彼のお嫁さんとして
恥ずかしくないように
支えられるように
必死で学んだわ。



母が亡くなったり
赤ちゃんが、
生まれたり、
色んなことが
あつたけど…

…ごめんね、
あなたに
こんなこと言っても
仕方がないのに…

でも、思い出すと
堪らなくなるの…



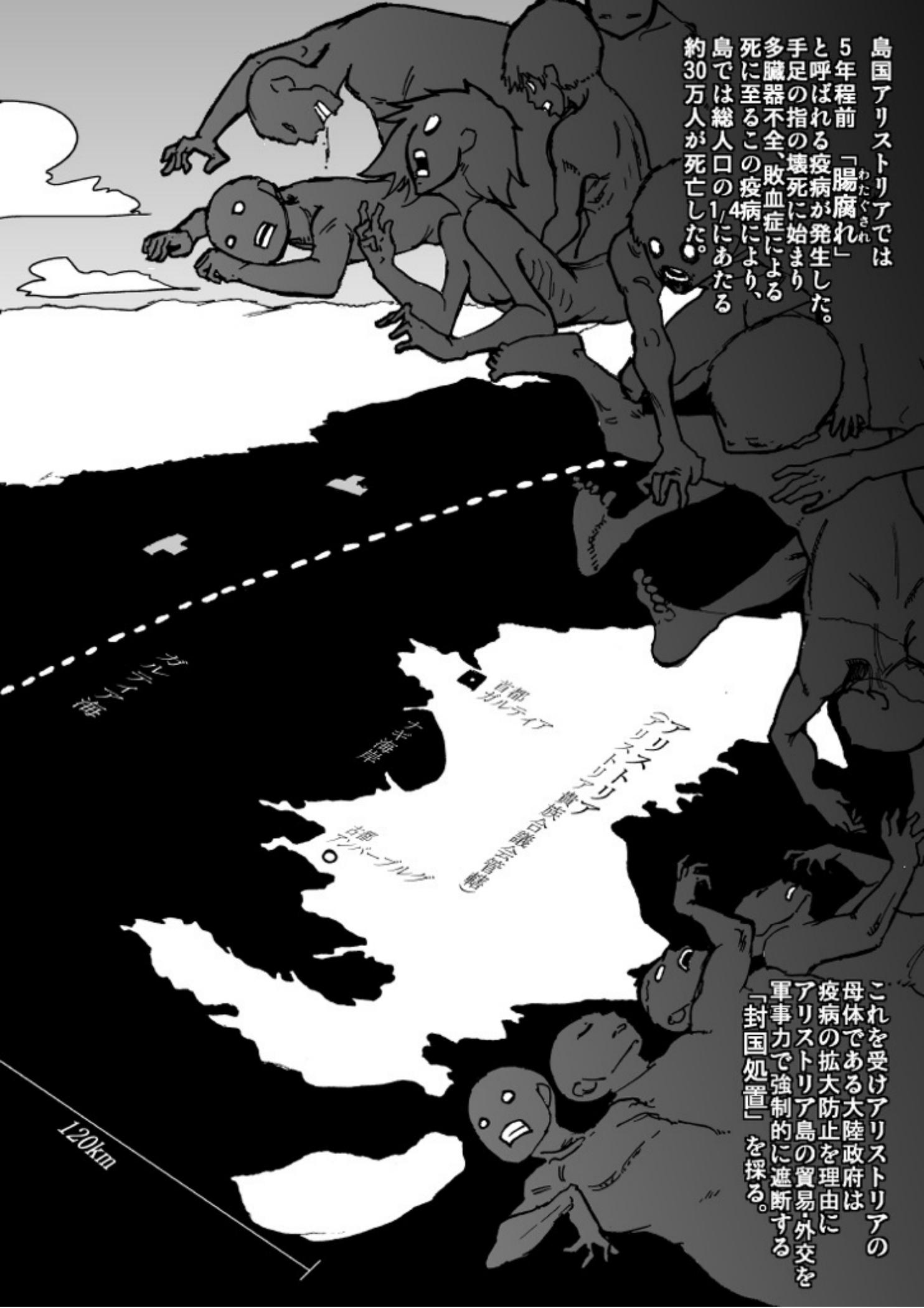
先生の中で
一番幸せなの。
時間だったの。

GROUNDLESS
アリストリア改国戦記



影待蛭太

島国アリストリアでは
5年程前「**腸腐れ**」
と呼ばれる疫病が発生した。
手足の指の壊死が始まり
多臓器不全、敗血症による
死に至るこの疫病により、
島では総人口の1/4にあたる
約30万人が死亡した。



これを受けアリストリアの
母体である大陸政府は
疫病の拡大防止を理由に
アリストリア島の貿易・外交を
軍事力で強制的に遮断する
「封国処置」を採る。

ところが、島内でワクチンが作られある程度疫病が沈静化した後も大陸がこの処置を続けたため資源に乏しく自然環境も厳しい島内では慢性的な物資不足状態となった。

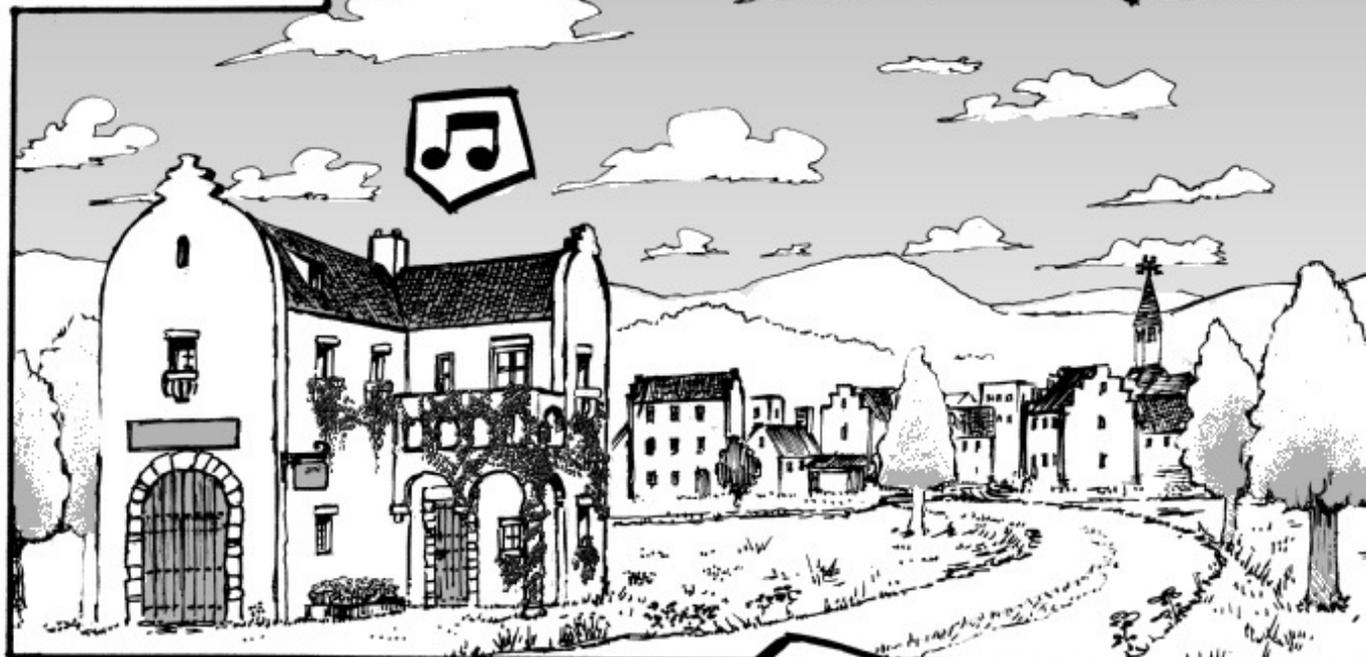
スタートラインが支配大陸

大陸海軍常駐軍領

封鎖線

この状況を打破できない貴族合議会（大陸から派遣された議員による島の統治機関）への反発から各地で市民が暴徒化、さらに「大陸統治論」なる書籍の流通により、暴徒がアリストリア開放市民軍を名乗る民兵組織と化し暴動や略奪が相次ぐ極めて不安定な情勢に陥っている。

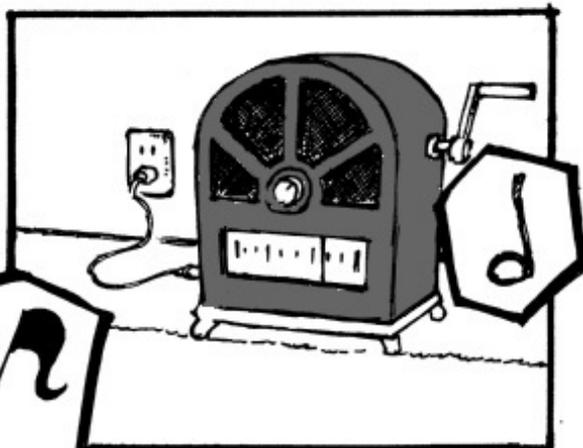
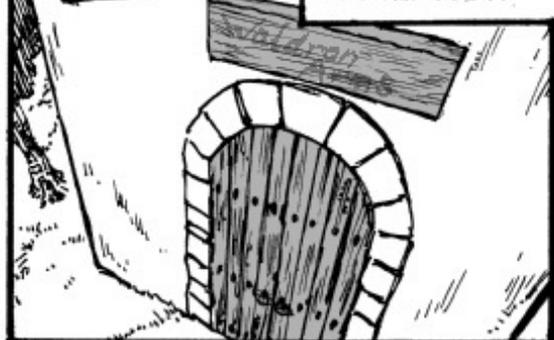
アリストリア中部
D式小銃の産地
ダシア



ナディアアー。
ママーって言って
ごらん。



ウォルドロン
小火器卸売店





先程、南部の町ミヤビヤームで貴族島開放軍関係者と思われる暴徒とミヤビヤームの市民の間で銃撃戦が起こった模様です。

発端は、輸送中の弾薬を暴徒が略奪しようとしたため、双方に数名の死傷者が出ているとのこと……

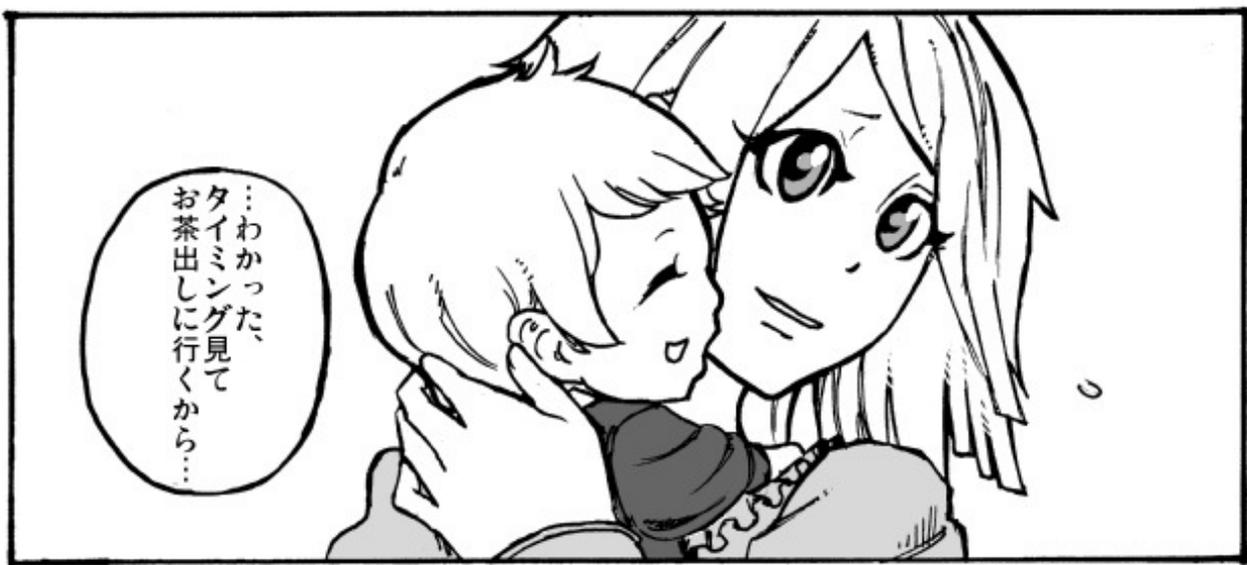
いよいよ島内騒乱
我々が稼ぎ時
って感じだな。

失礼。
グレゴリオ大佐が
到着しました
ので……

ああ。
ありがとう。
今行く。

ねえ
ルーベンス。

ここは
大丈夫なの？



あいやいやはっはっは!!
奥さん、今日とて
お美しい!!

こんな綺麗な
奥さんもらつて
ウオルドロンさん、
果報者ですなー
いや羨ましい!!

あはは…

お上手
ですこと。

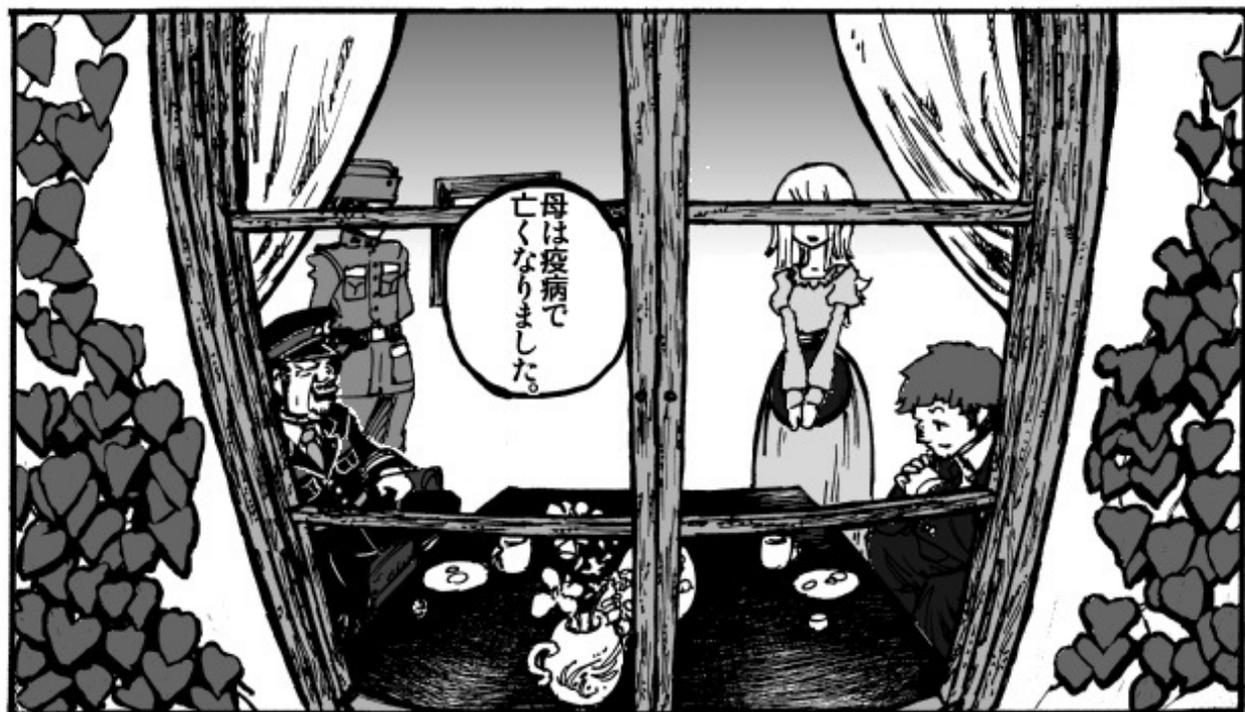


これだけ
お綺麗ですと
私の年なら
奥さんの
お母様にも
お目に掛かりたい
もんですなー!!



うあっはっ
はっは!!







うむ…

お二人もご存知かと思ひますが…

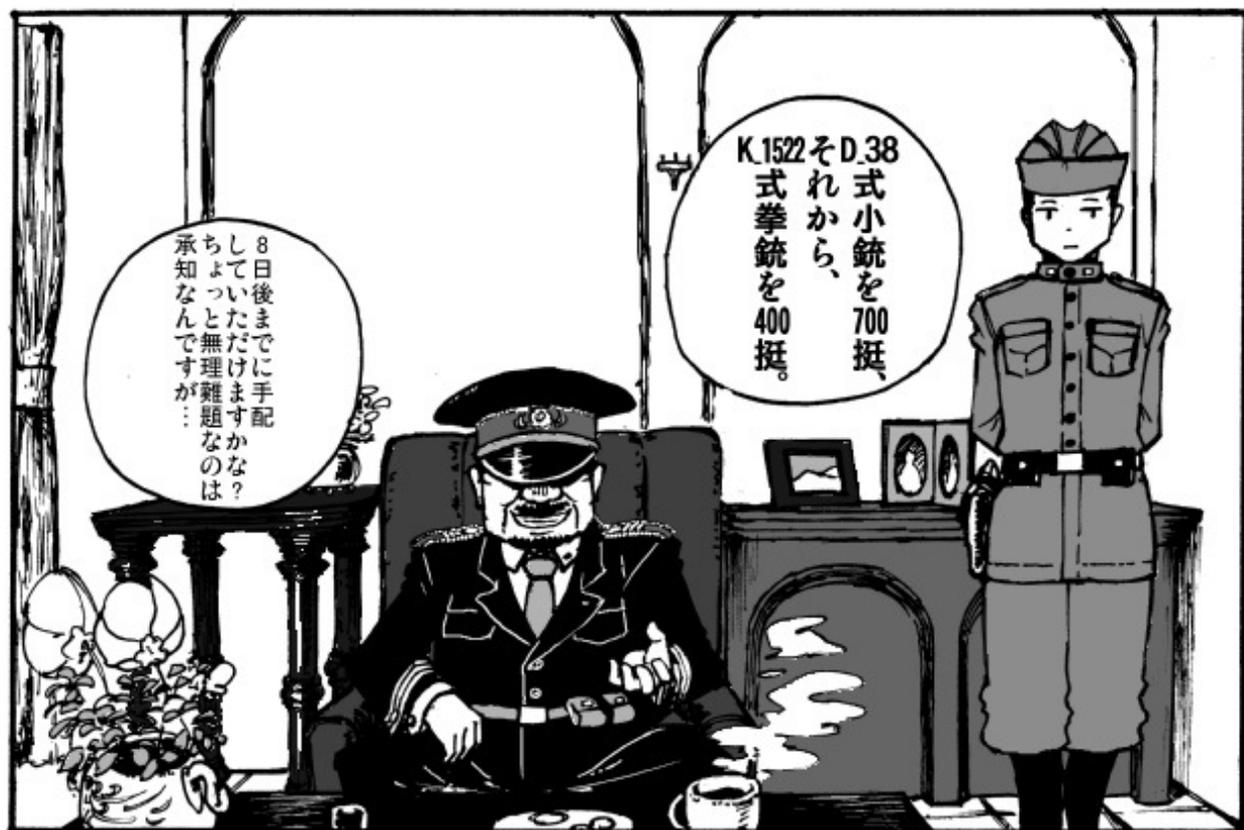


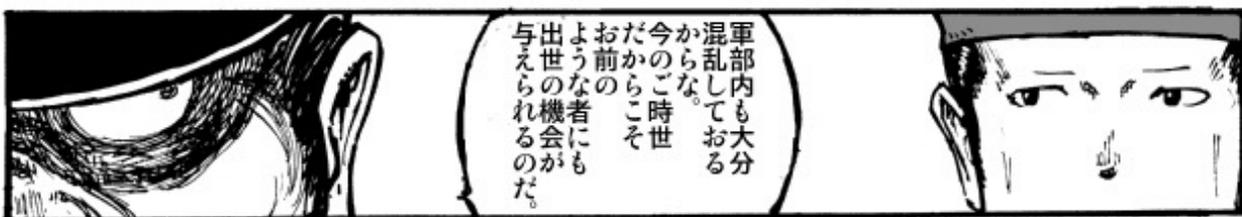
疫病と封国の影響で最近、頓に治安が悪化してきておりました。当軍と雇用の両面で治安に貢献するため新規に大量募兵をする事になりました…

ええ…



我々輜重・兵站科は彼ら新兵達に相応しい良質の小銃を大量に揃えなくてはならなくなりました。







ルーベンスは個人商としては手に余る規模の注文を果したためこの注文を仕入れた妻同伴で回った。



ありがとうございます！
ごさいます！

あひゃ
特需だねー！

彼が重要な商談に臨む時に「自分の勝利の女神だから」と妻を同伴するのはその界限では有名な話で



実際、このときも無茶な注文数に可能な限り近い合計1000挺余りの小火器を調達することに成功した。





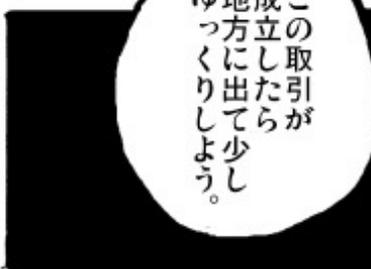
1541年3月21日
納品予定日



僕の人生に
無理矢理に
付き合わせて
しまってるみたいで
…銃にも興味は
なかっただろうし…



…ソフィア
僕が武器商で
あることが
君を不安に
させているなら
謝るよ…



この取引が
成立したら
地方に出て少
しゆくりしよう。





ウオールドロン
小火器卸売店は
ここか!?





どちら様
ですか?

あの...



輸送業者
じゃないわ...



我々は
アリス
トリア
開放
市民
軍だ!!
闘争
のた
めの
協力、
武器
の供
給す
る!!
感謝
する!!



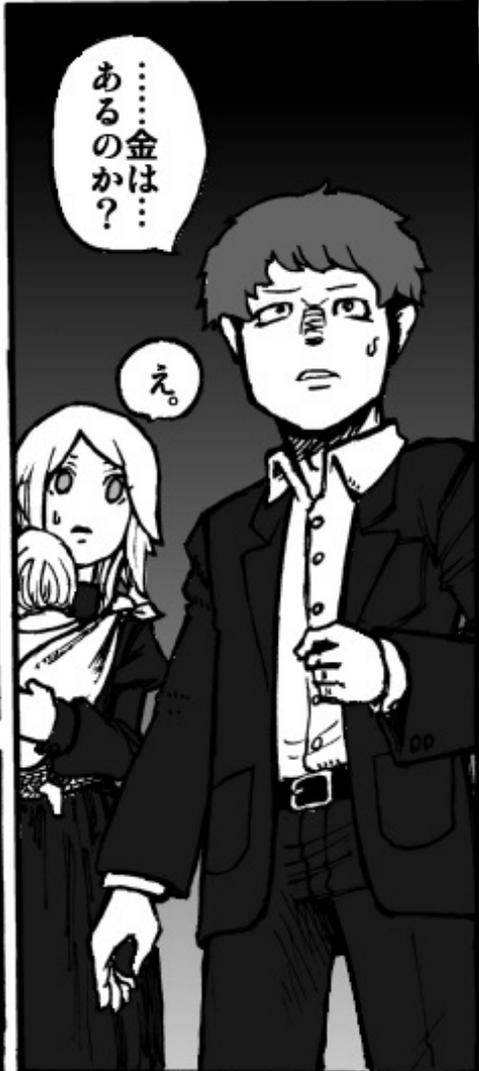
ルーベンス、
落ち着いて...

...マジか...



協力に感謝
 っつていってらわ。
 抵抗しなければ
 おかしなことには
 ならないよ……!

よくわからないけど
 大佐の手引きで
 来た人達なんでしょ？
 ともかく品物を
 彼らに渡しましょう。
 お金は仕方がないよ。



……金は……
 あるのか？

え。

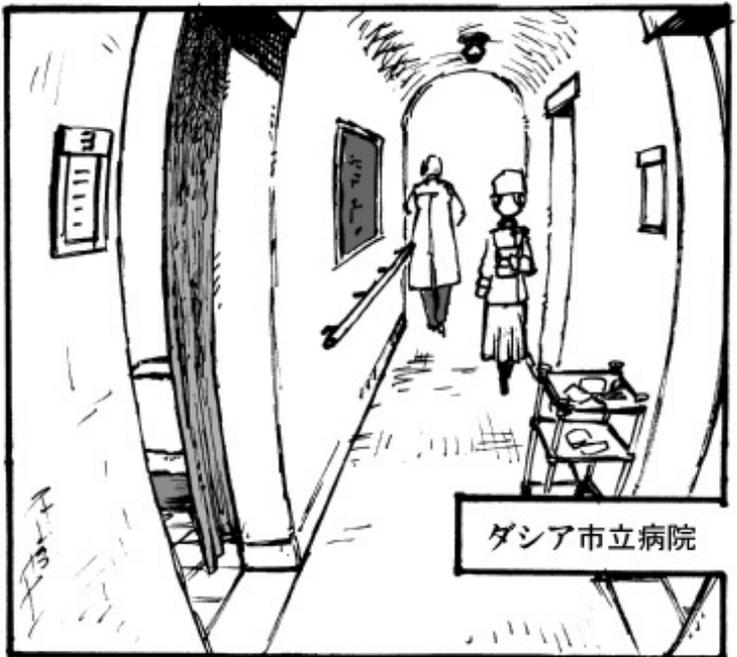


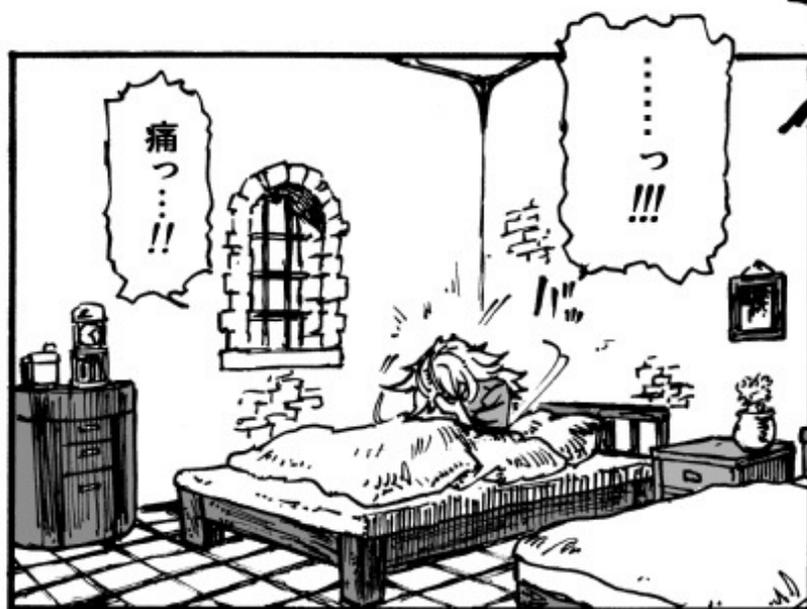
……君には
 我々に協力する
 気概がない
 ようだな。







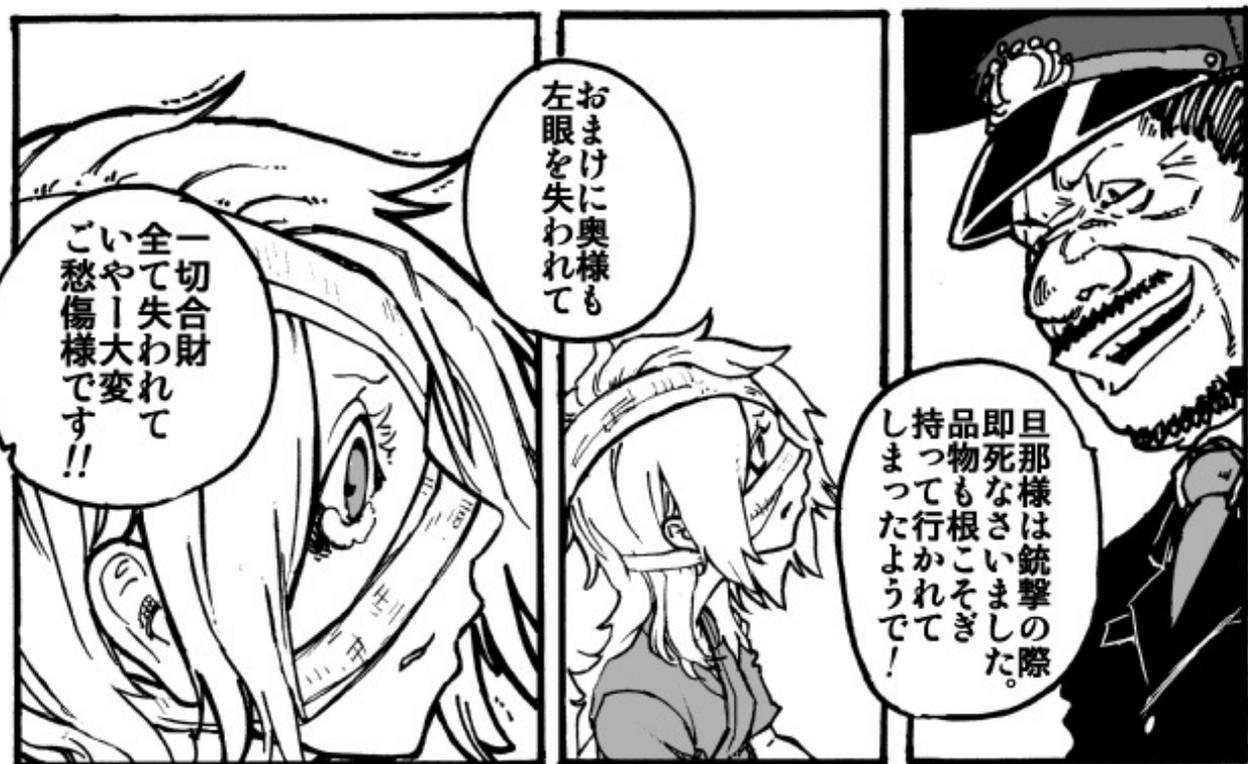






何を
いけしゃあしゃあ
と……!!

私の夫は!?



おまけに奥様も
左眼を失われて

一切合財
全て失われて
いやー大変
ご愁傷様です!!

旦那様は銃撃の際
即死なさいました。
品物も根こそぎ
持って行かれて
しまったようです!



こちらとしましても
優良な武器を
納品してくれた
卸業者がこんなことに
なってしまうして
まことに残念です!!
ええ!!!



…あんなねえ、
いい加減
気付けよ。



「あんたはもう
有能な
若手商人の奥様」
じゃあねーんだよ。



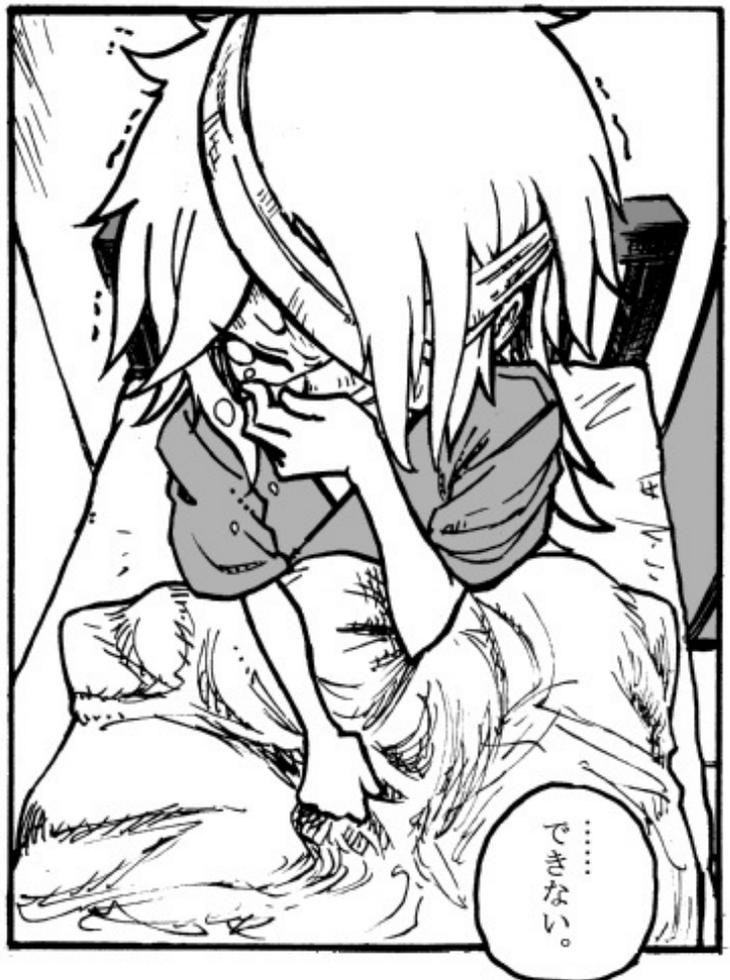
それどころか
あんたの母親は混血で
あんたを産むまで
売女だったそう
じゃねーか。



要するにあんたは
私生児同然だ。
財もなければ
才もない私生児に

未来ある赤子を
任せるわけには
いかねーだろ!?







わしにはそうする
力があつて、

あんたには
その力が
ない。

当たり前のこと
起こつとるだけ
じゃないか？
どうもこうも
なからう。

ま、気が変わつたら
いつでもおいで。
楽しみにしとるから。
ふへへへへ!!

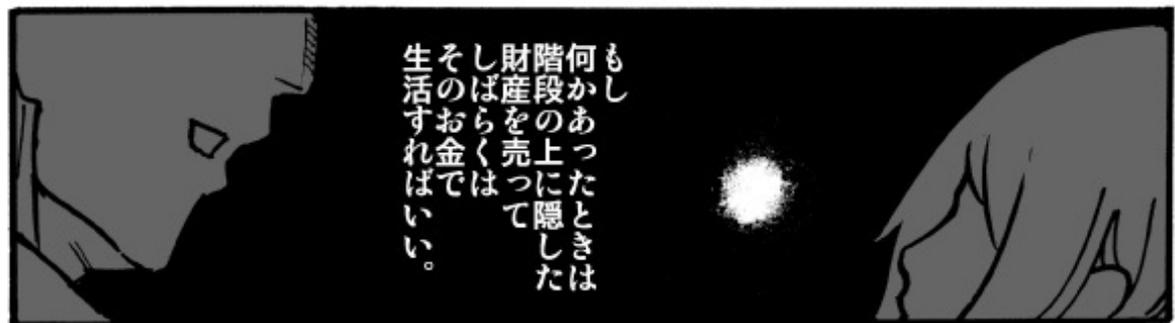
おおおやおやおや
看護婦さん
今日も今日とて
お美しいー!!

ま!!

お上手ですこと
によほほほ!!



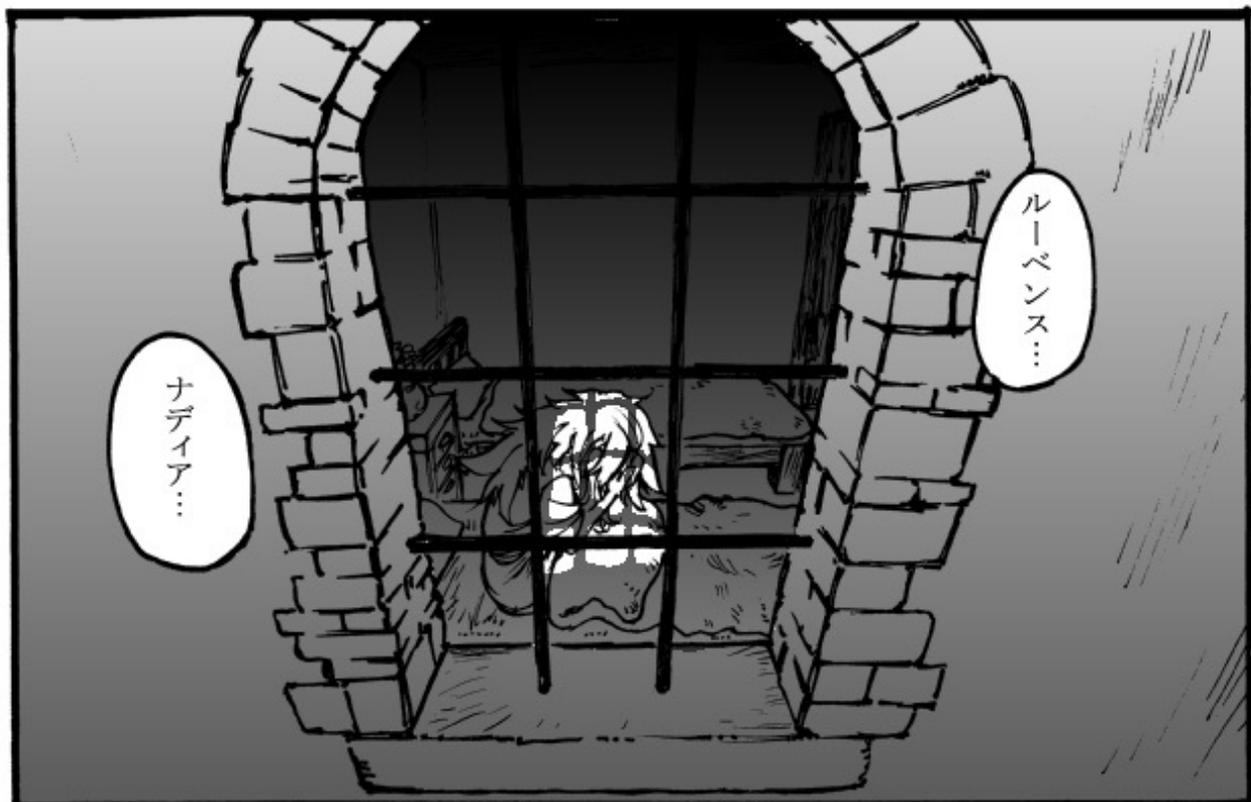




もし何かあったときは
階段の上に隠した
財産を売って
しばらくは
そのお金で
生活すればいい。



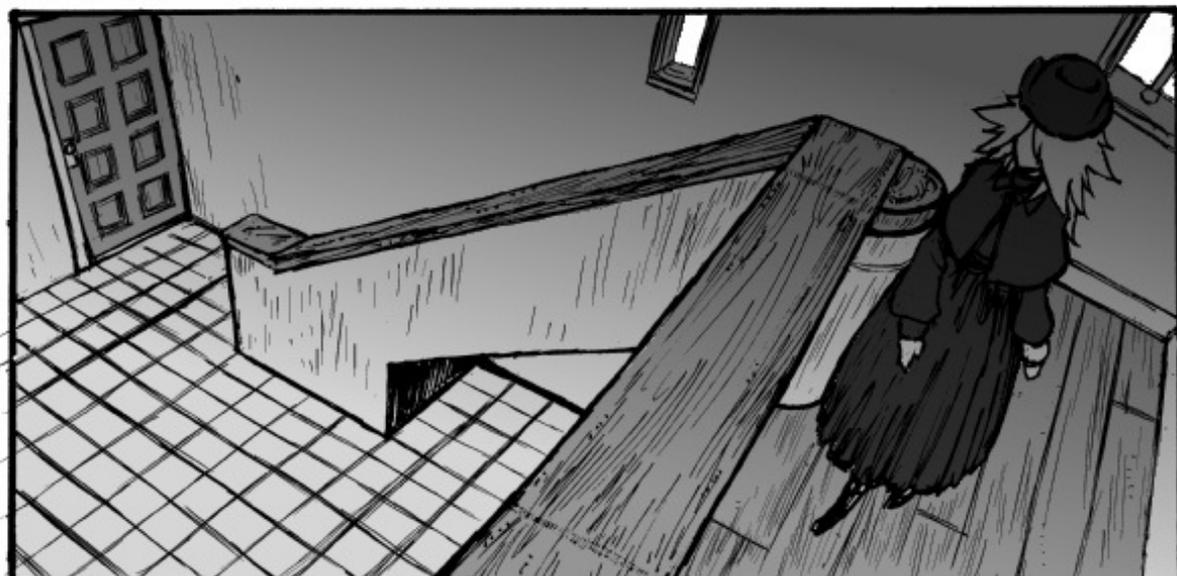
いつでも
言ってるだろ。

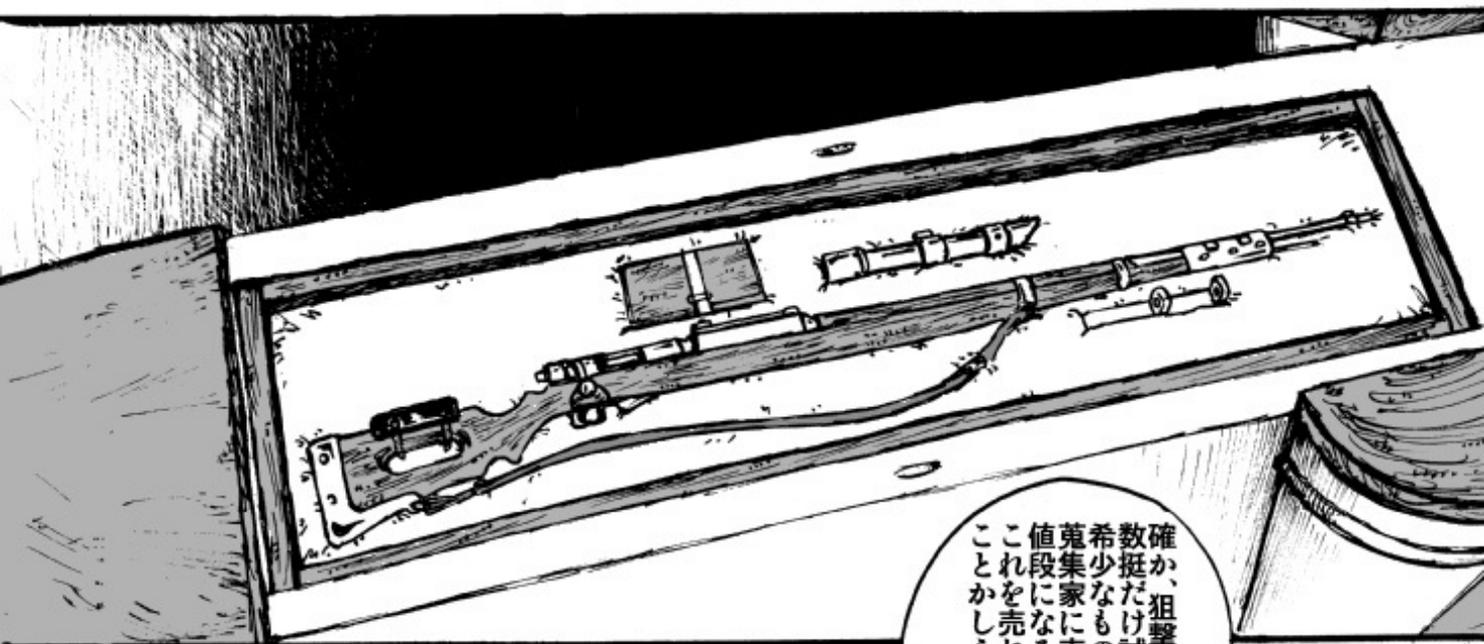
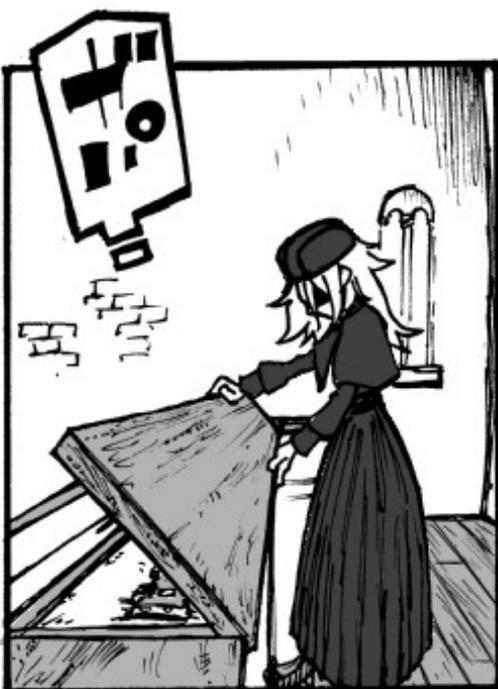


ルーベンス…

ナディア…

GROUNDLESS
アリストリア改国戦記





確か、狙撃用に
数挺だけ試作された
希少なもののね。
蒐集家に売れば
値段になるから
これを売れつて
ことかしら……



あんたには、力がない。



狙撃手として
自警団に
入りたい？

……
ちから
……



街の自警団とはいえ、
ハードな仕事なのは、
いうまでもないし、
それがよりによって
狙撃兵となると
どう扱ってやれば
いいか……

狙撃兵の
育成実績自体
我々には
ないんでね。

そもそも狙撃兵は
射撃の腕は勿論、
体力、精神力他
一兵士として必要な
全ての技能で
一流でなければ
ならない存在で、

戦闘になって
存在が知れば
真つ先に狙われるし
そうならないために
時には何日も
身動き一つとれない
ケースもある……

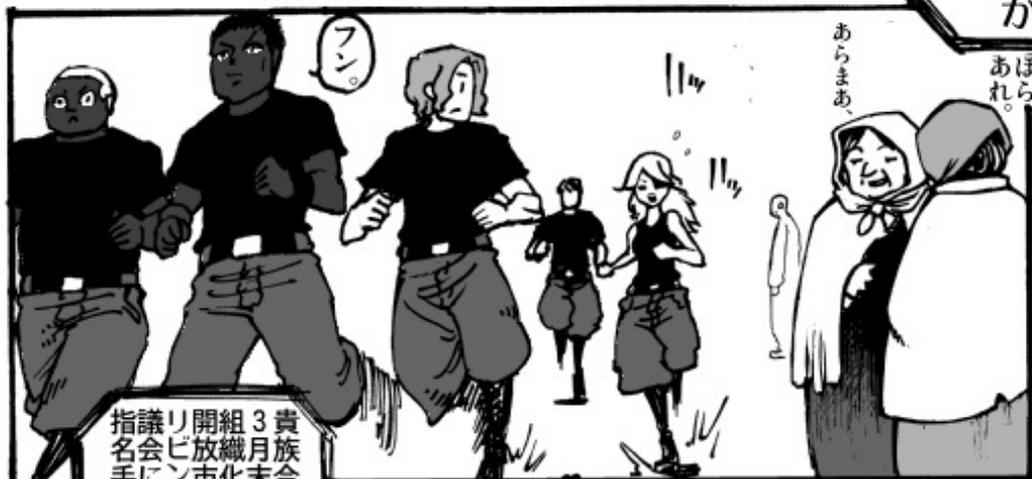
(…うお!!
D-31Sだ!!)

無茶は
百も承知です。

あっ!!
その銃だけ寄進
してもらおうとか
事務員・医務員
としての応募なら
ただだ大歓迎……

貴女のような
細腕の女性には
過酷過ぎると
思うんですけど……
できればお引取り
願いたい。

こんばんは、10時の
国営有線放送です。
依然として
各地で暴動や略奪が
相次いでいます。



貴族合議会は
3月末日付けで、
組織化した暴徒、
開放市民軍の首領
リビンダシヨボウ
指名会に対する反
議手に配し……
逆罪を



仲良くなつて
あの希少銃、
もらせて
おおう！

72!!

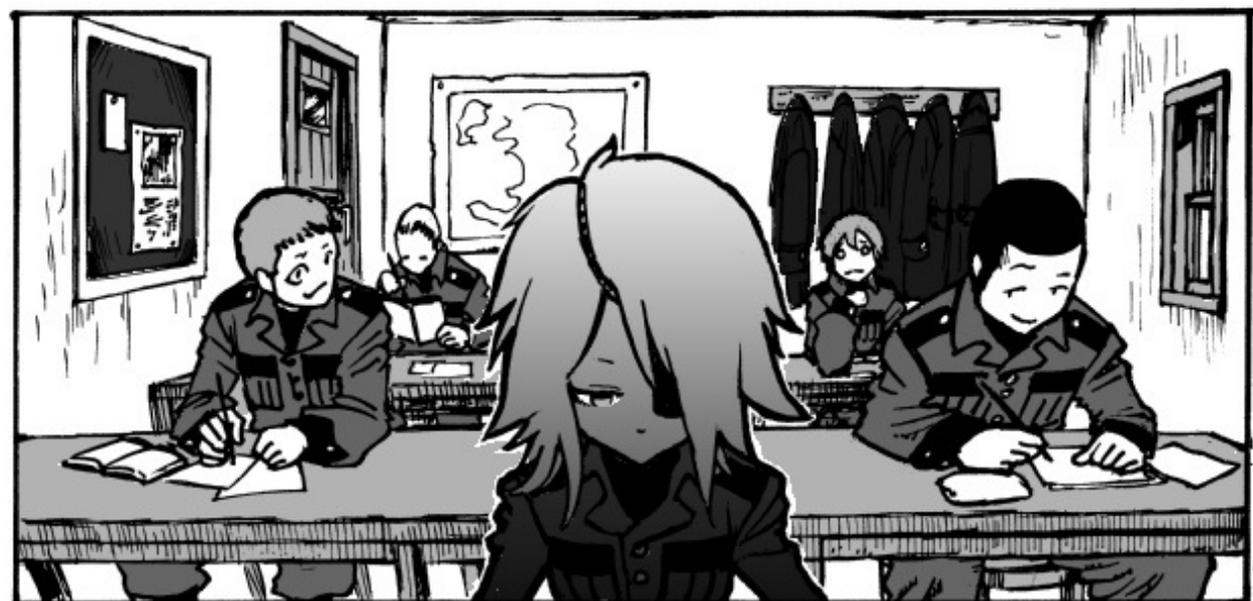


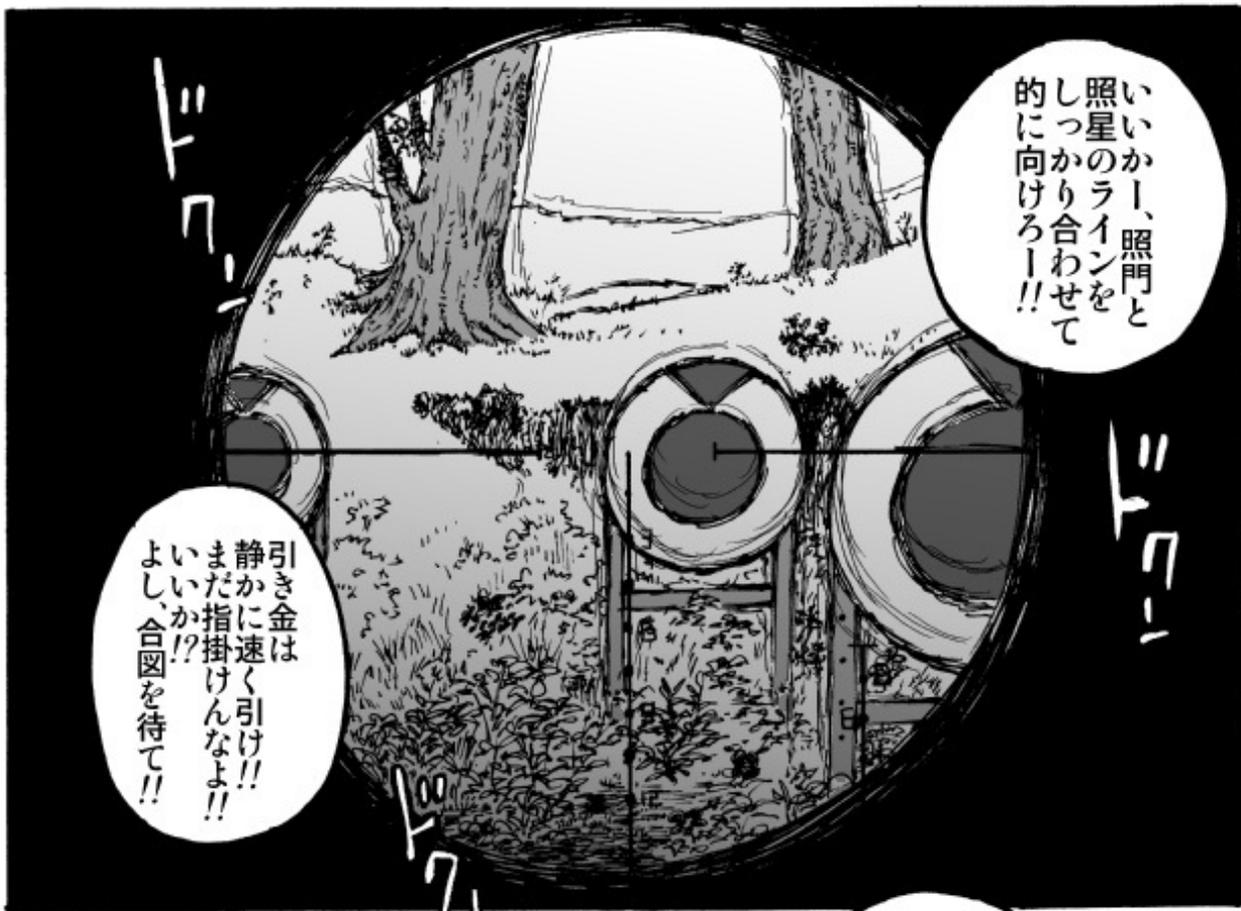


重力、気温、気圧、
湿度と雨、障害物、
そして何よりも風だ。
注意しなければ、
ならないのは、
風速と風向……



実戦で
迷惑かけないで
くれよ、奥さん。





いいかい、照門と照星のラインをしっかりと合わせて的に向けるー!!

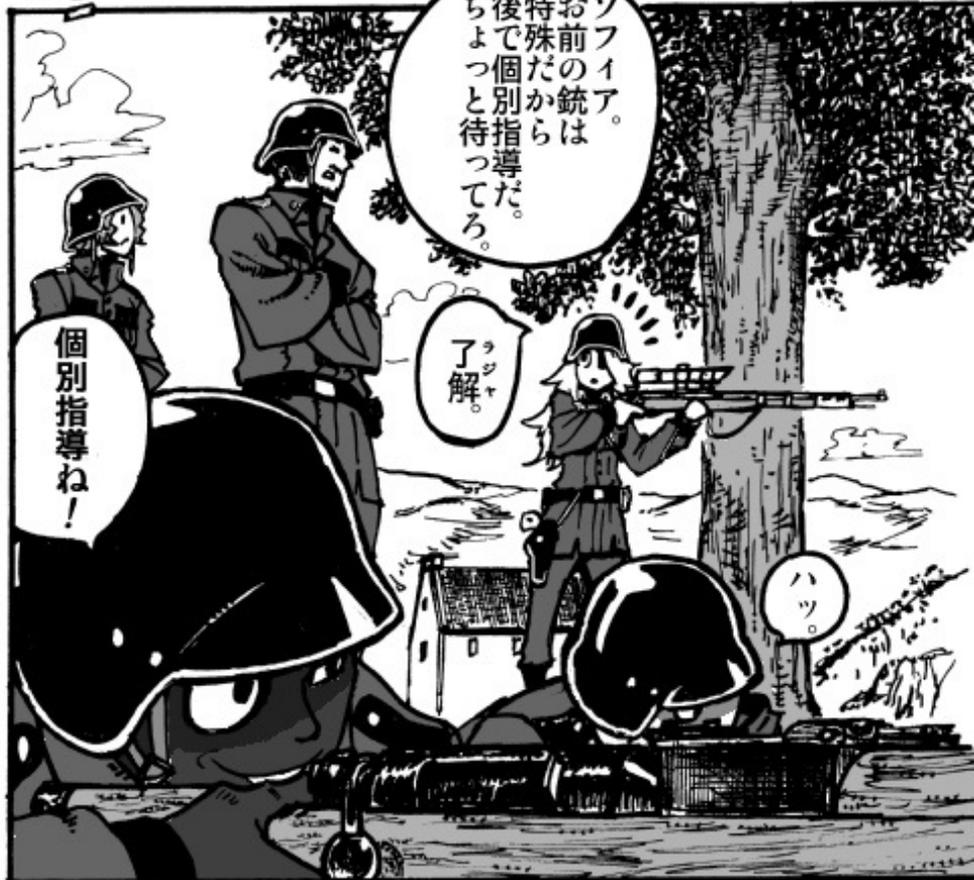
引き金は静かに速く引け!!
まだ指掛けんなよ!!
いいか!?!
よし、合図を待て!!

ド
ド
ド

ド
ド
ド



撃ち方用意!!



ソファイア。お前の銃は特殊だから後で個別指導だ。ちよつと待ってる。

了解。

個別指導ね!

ハッ。



それじゃソファイア。個別指導だ。(うまく指導できるかな...)

キター!



狙撃銃で何より大切なのはゼロインとその把握だ。

はい。

ゼロインっていうのは大まかに言うると特定の距離の的を照準線の中心で狙った時に狙った通りの位置に弾が着弾するように照準器が調整してある状態のことだ。

これをちゃんとしておかないと実戦でどこに弾が飛んでいくかわからないなんて間抜けなことになってしまう。日頃の手入れと管理を怠るな。



おう、あるある。

望遠鏡ある?

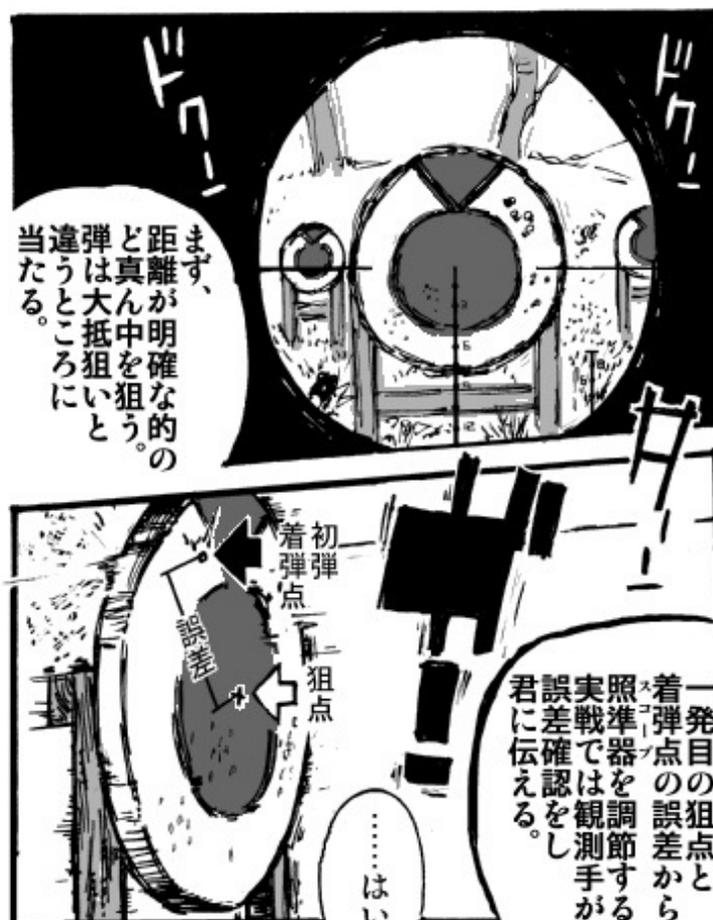


この照準器は単純な構造で、こつちのつまみで縦軸こつちで横軸を調節する。とりあえず今は手前の150mの的にゼロを合わせてみよう。

はい。

この銃にはちよっと短いかもしれんが...

はい。



まず、距離が明確な弾と真ん中を狙うと違うところ当たる。

一発目の狙点と着弾点の誤差から照準器を調節する。実戦では観測手が誤差確認をし君に伝える。

...はい。

※1狙点(射手が狙った場所)
※2着弾点(実際に当たった場所)

注意したいのは
実戦でこの作業を
していない暇なんて
つまり、
観測手の報告から、
瞬時に照準器内の
ゼロを読む
才能か知識が
必須ってことだ。

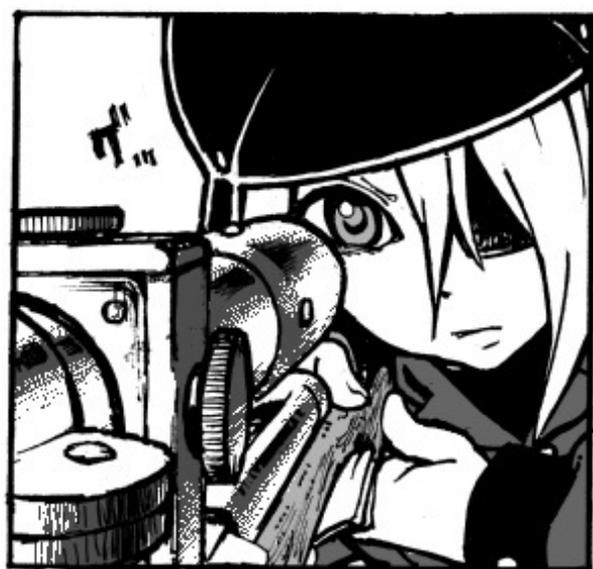
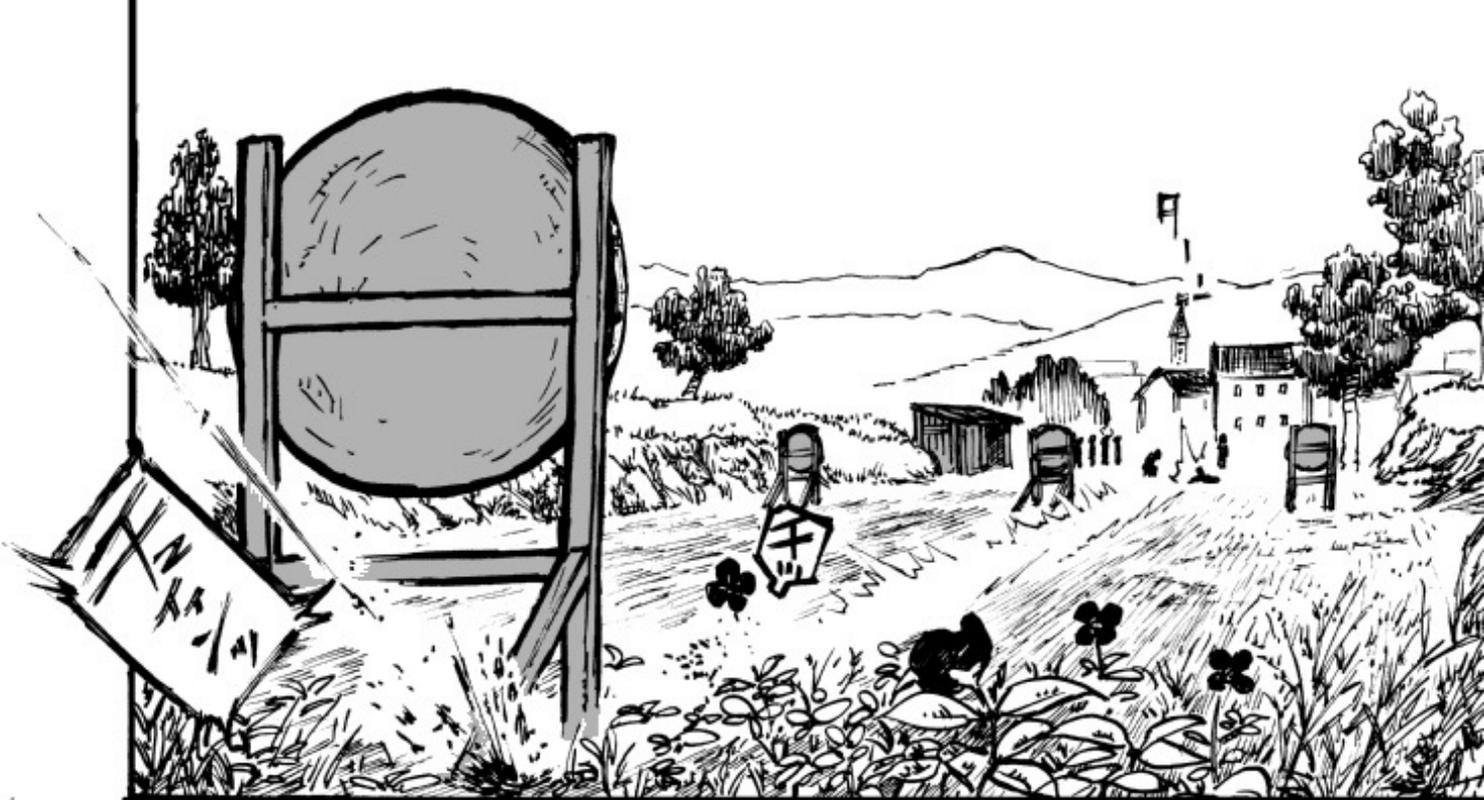


よし。
今、150mで
大体ゼロイン
してる。

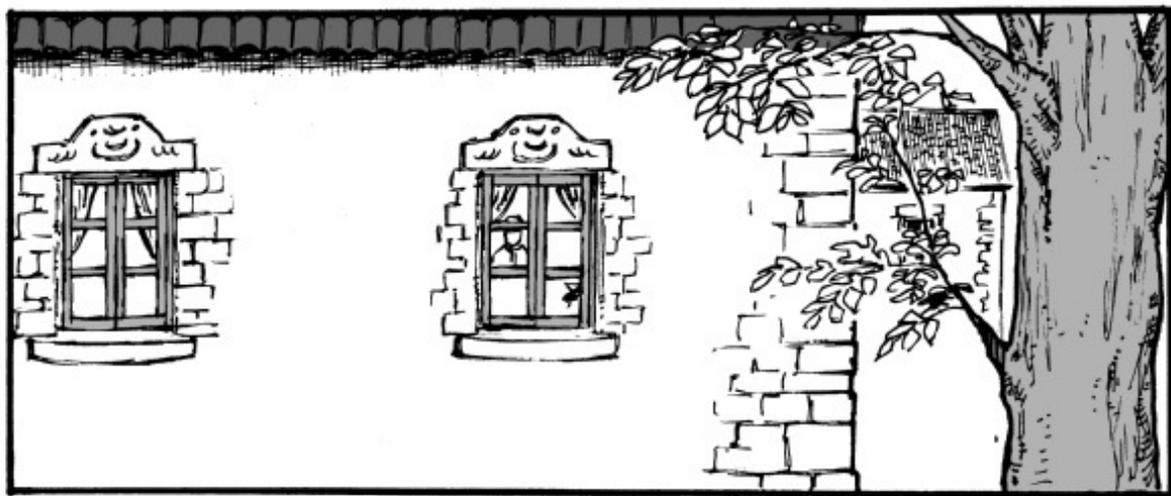


ど真ん中狙って
撃ってみろ。
ちやんと撃てれば
狙いの数センチ
左に当たるはずだ。











どうだ？

……的に
当たりません
でした。



そうだ。
狙撃の恐れが
ないのなら
ダシア攻めの指揮は
わしがとってやろう。



革命後の反乱因子に
なりうる要素は
徹底してこの蜂起で
叩かにならん。

島の構造を
スムーズに変える
ためにもな!!



……自警団を
混乱させるために
最後にもう一手間
打っておこう。







…でも、現実的には
反乱やクーデターが
起こつたら、やっばり
開放軍の方に付くことに
なるんじゃないかな。
合議会ひとしいね…

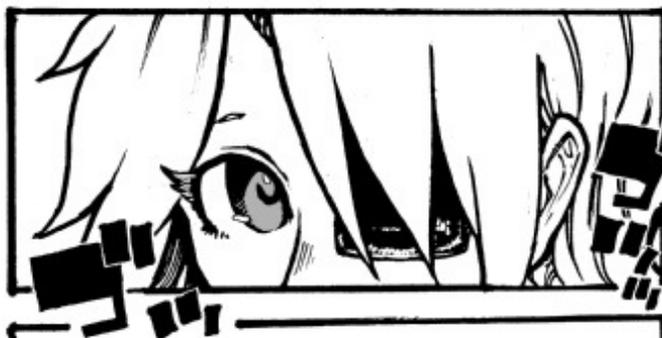


……うう。



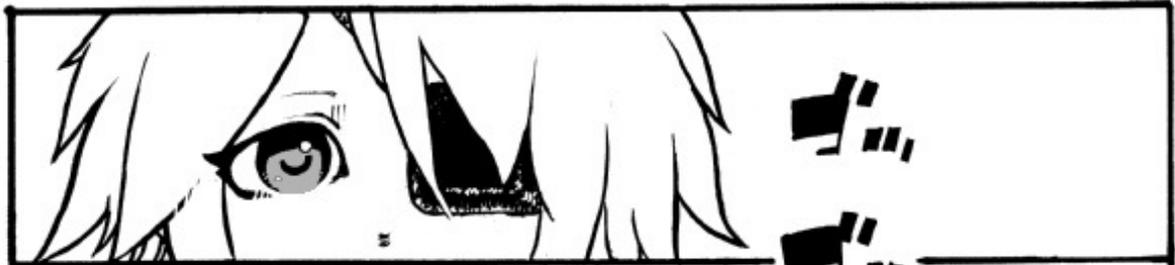
どちらでもないよ。
僕らはこの街を
守ることが最優先。

街の治安や
市民の自治を
脅かすなら
相手が誰でも戦うし
そうでないなら
何もしない。



敵なら殺す！
味方なら生かす！
なんてな！！

ま、俺
人に向けて
撃つたこと
ねえんだけど！！
あひひ！！



「開放市民
蜂起のお知らせと
蜂起への同調勧告」
だときさ。



「この決起に対し
我々軍部は、議会の
親衛隊等一部を除いて
賛同し静観する予定。
各都市の自警団も
島のため是非
これに同調されたし。」



「貴殿らが
街の明け渡しに
同意せず戦闘に
なった場合、
多くの死傷者が
出ると推測される。」



「諸兄の
賢明な判断を望む。
貴族島方面陸軍
某科大隊長
サビアラ、
フルシチヨフ中佐



「無事、革命が
成功した際には
諸兄一人一人のため
軍部や他の機関に
ささやかながら
ポストも用意する。」

「尚、決起の際には
開放市民側から
照明弾を上げる。
同調するならば
照明弾で
呼応されたし。」



市民が
武装蜂起して
軍隊がそれに乗る
って公に認めて……
この島、いよいよ
大詰めだなあ……



まあ……
今の合議会よりは
軍部や開放市民に
任せたいほうが
政治もまじやね？

俺ら自警団には
ポストも用意
してくれらるって
いうし……こは
彼らに同調する
べきだな



……こんなの
嘘に決まってる
じゃない。



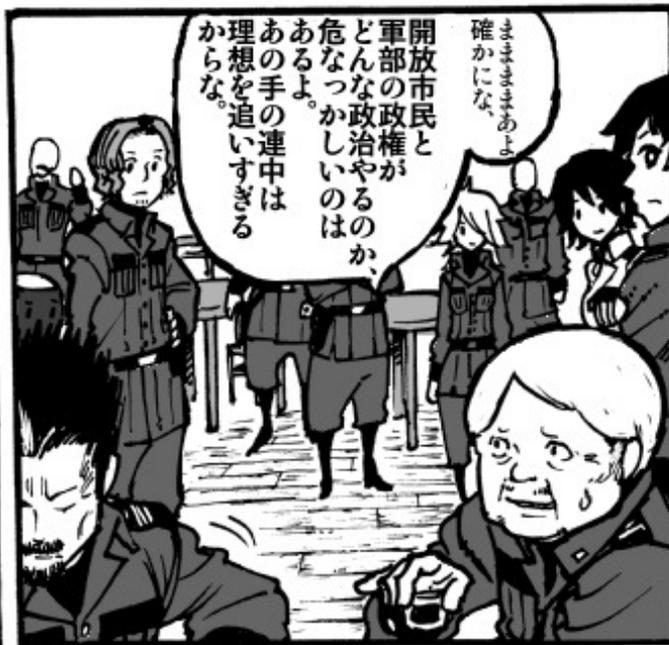
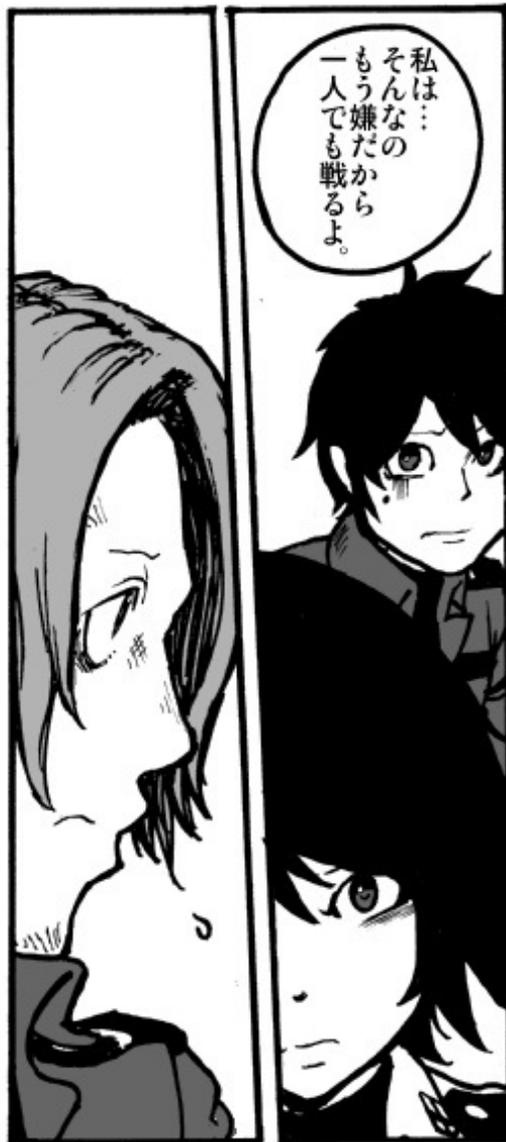
開放市民軍とか
言うけど実際には
暴徒の集まりでしょ。

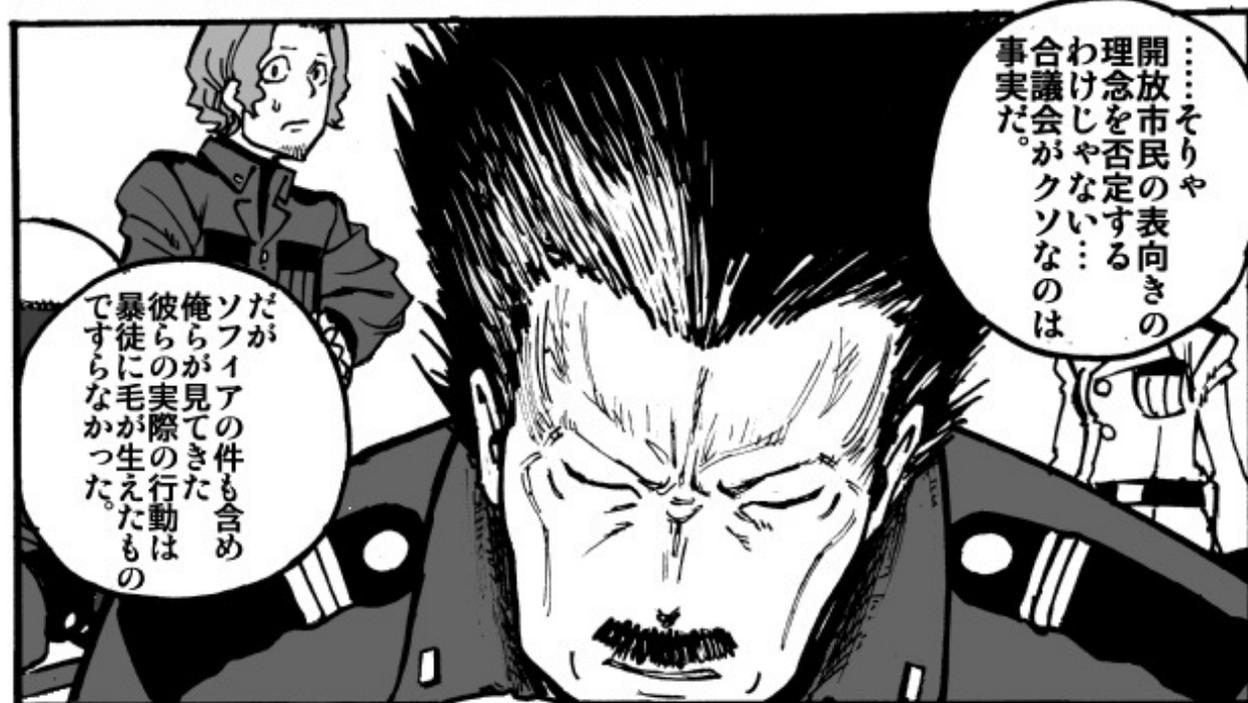


彼らは国だとか
政治だとか
高尚なことを
考えて蜂起する
わけじゃない。

自分達に
都合が悪ければ
こんな口約束
簡単に反故にするし
もつと酷いことも
平気でやる。







一旦解散し、

ともかく、今は
街を守ろう!!
その後のことは
その後で
決めればいい!!

各自
戦いの準備をして
明け方までに
本部の会議室に
再集合!!
いいいな!?

GROUNDLESS-アリストリア改国戦記- #01前編

<http://p.booklog.jp/book/33889>

著者

影待蛭太

URL

<http://www.coldturbine.com/>

公開・修正履歴

2013.5/20__10pの台詞抜けを修正

2012.1/13__ver1.1_パプーで公開

2010.6/6_ver1.0_サイトで公開

感想はサイトのフォームかもしくは下記頁のコメント欄へ

<http://p.booklog.jp/book/33889>

ブックログのパプー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/33889>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.